

ユニバーサル・ラン

車いすバスケットボール体験授業



LIXILは「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」に向けて、多様化する顧客ニーズに応え、年齢、性別、障がいの有無などを問わず、すべての人びとの健康で快適な暮らしを支えることを目指しています。

誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン (UD) を組み込んだ水まわり製品・住宅建材やサービスの開発および提供のほか、ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) を推進する啓発活動にも取り組んでいます。

活動の一つとして、スポーツを通じて多様性を学ぶ体験授業「ユニバーサル・ラン」を実施しています。これは、子どもたちが自分とは違う他者を思いやり、配慮できる心を育むことを目的としています。

授業では、講師のパラアスリートとの交流やスポーツの体験を通じて、車いすを使いこなすアスリートの身体能力や努力を実感することができるほか、障がいのある当事者の経験談に触れていただきながら、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、子どもたちが自分ごととして考える機会となっています。

対象 小学校4・5・6年生

関連する教科 総合学習の時間、道徳、国語、社会、体育

ねらい 年齢、性別、国籍、障がいの有無などの多様性に関する理解を深める。



リイちゃん

● 体験・実技

- ・アスリートの紹介
- ・車いすについての説明
- ・準備体操
- ・車いすバスケットボールの体験

● 座学

- ・「多様性って何だろう？」を考える
- ・共生社会に向けて、みんなにいい暮らしを考える
- ・グループディスカッション

※上記は1クラスで実施の場合。1日の最大実施可能数は3クラスとなります。

授業形式・講義資料



講義では車いすについて学んだり、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、みんなが暮らしやすい社会について考えます。

授業を受けた子どもの感想

- 普段とは違うバスケみたいで、新感覚でとても面白かった
- 車椅子バスケットボールは普通のバスケットボールより不便なことがあるけど、車椅子でしかできないことがあって、面白かった
- 選手は障がいがあってもとても難しい車いすバスケットを上手にやっていてすごいと思った。授業を通して障害者に対する印象が変わった

先生の感想

- パラスポーツは知っていても経験する機会はなかったので、貴重な体験になりました
- 体験と座学につながりがあり、子供たちの学びが深まりました。体験すること、直接話を聞くことで子供たちの心に響きました

講師を務めるアスリートからのメッセージ

- パラスポーツをきっかけに、パラスポーツの魅力と障がいのことも理解してもらい、心のバリアフリーを目指していきたい
- 車椅子バスケットボール以外にも、義足を使った競技や、目の見えない方（視覚障がい者）の競技など、いろいろな競技があるので、この授業をきっかけに色々なパラスポーツに興味をもってほしい

